| 学校番号 | 1011 |
|---|---|

# 令和８年度　保健体育科

| 教科 | (専)体育 | 科目 | (学)サッカーA | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業では「競技」サッカーとして取り組む。プレイヤーとして知識・技能の習得はもちろん、「サッカーの理解」を目的としたい。評価においては、技能習得にむけた練習への取り組み方（主体としての取り組み方・周囲の者との協働的な取り組み方）も評価する。また、審判や準備・片づけなど運営面での責任も求める。
・体育（スポーツ）理論の学習と評価を行う。授業中の板書を書き写すだけでなく、授業のポイントや自身で気づいた事、クラスメイトの発言内容などへの反応なども含めて評価する。筆記テストを実施して理解度を評価する。
・実技学習と理論学習を並行することで、双方でつながりのある習熟を求めたい。

2　学習の到達目標

・「個人スキル」の向上が目的ではなく、「サッカーの戦術」の理解を求めることでより質の高いサッカーを楽しむことができる。
・「課題・ミッション」の解決をめざし主体的・計画的に取り組める。
・よりよい練習環境を作り出すために仲間と協働する態度や能力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・個人戦術、グループ戦術などの基本的スキルを身につけ、チーム戦術につなげてプレーすることができる<br>・サッカーの特性や上達過程などの体育理論を理解し、役立てることができる | ・個々が自分の役割を理解し、チーム戦術をメンバーと協力・連携して遂行することができる<br>・仲間の技能向上につながる雰囲気づくりやアドバイスなど、協働的に授業に取り組むことができる<br>・ルールを理解し、利用してゲームに取り組む力を高めることができる | ・自己の技能向上を追求し、各戦術の遂行に向けて主体的に粘り強く練習に取り組むことができる<br>・相手を思いやり（尊重・配慮）スポーツを安全に楽しむ態度をとることができる<br>・時間、服装・マナーを遵守し、配慮をもって授業に参加することができる |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1 | 体育理論 | ①運動やスポーツでの安全の確保<br>②スポーツにおける技能と体力<br>③スポーツにおける技術と戦術<br>④技能の上達過程と練習<br>⑤効果的な動きのメカニズム<br>⑥体力トレーニング | a:スポーツ全般におけるケガのリスクを理解し、ウォーミングアップなどの大切さについて説明することができる<br>a:基本的な体力要素を理解し、技能上達のプロセスを段階的に説明することができる<br>b:理論として学んだことを実技の中で実践できる<br>b:スポーツ全般について学んだことを、サッカーの特性に照らし合わせて具体的に考えることができる<br>c:自他の体力要素や技能段階に興味を持ち、主体的に理論学習に取り組もうとしている | テスト | 授業観察 | 授業観察(雰囲気づくり・貢献度)<br>レポート |
| | 個人戦術 | ・個人スキル<br>①　ドリブルシュート(3種類)<br>②　センタリングからのシュート | a:個人スキルとして指定のシュート技術を習得することができる<br>b:他者のシュートスキルを評価し、助言することができる<br>c:安定したシュート動作を習得できるように、繰り返し練習したり練習の補助を率先して行おうとしている | スキルテスト | 授業観察 | 授業観察(雰囲気づくり・貢献度)<br>レポート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | オフザボール理解 | ①　サポートの優先順位の理解<br>②　3人目の動き出し | a:グループスキルとして指定のプレイ（課題）を習得することができる<br>b:習得したプレイをゲームにつなげて実践することができる<br>b:相手の動きを想定し、仲間と連携を取りながらタイミングやポジションを合わせてプレイすることができる<br>c:効果的なオフェンスプレイを習得できるように、繰り返し練習したり友達の練習の補助を率先して行おうとしている | スキルテスト | 授業観察<br>意図理解<br>タイミング<br><br>ｹﾞｰﾑ評価 | 授業観察（雰囲気づくり・貢献度）<br>レポート |
| 3 | グループ戦術の判断と改善 | ・試合 | a:実践的な練習において、戦術に応じたオフェンスやディフェンスを実践することができる<br>b:チームでプレイを分析し、戦術に対する個々の動きを評価したり修正したりすることができる<br>c:お互いに教え合いながら、協働的、精力的に活動に取り組もうとしている | スキルテスト | 授業観察 | 授業観察（雰囲気づくり・貢献度）<br>レポート |

※

表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度